

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成20年1月4日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

需要面・・・住宅建設、公共投資などで弱い動きが続いている。

大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を上回った。(10月)
乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を下回った。(11月)

産業面・・・一部に弱い動きが見られるが、おおむね横ばい圏内の動きとなっている。

鉱工業生産指数は季節調整済指数が前月を上回り、原指数は前年を下回っている。(10月)

雇用面・・・一部に持ち直しの動きが見られる。

現金給与総額、所定外労働時間とも前年を上回った。(10月)
求人倍率は、新規は前月を上回ったが、有効は前月を下回った。(11月)

需要面の動き

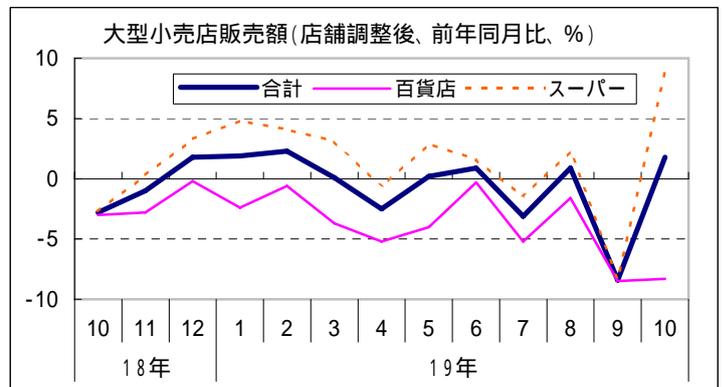
大型小売店販売額(10月)

全店舗の販売額は、54億5,434万円(前年同月比1.8%増)と2か月ぶりに前年を上回り、店舗調整後でも2か月ぶりに前年を上回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比
合計	545,434	1.8 (1.8)
百貨店	202,017	8.3 (8.3)
スーパー	343,417	8.8 (8.8)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(10月)

32億3,985万円(前年同月比5.7%増)と2か月ぶりに前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(11月)

1,693台(前年同月比5.5%減)と2か月続いて前年を下回った。
減少の内訳では、軽自動車の減少(前年同月比13.8%減)が大きかった。

新設住宅着工戸数(11月)

175戸(前年同月比62.2%減)と2か月ぶりに前年を下回った。減少の内訳では、貸家の減少(前年同月比76.5%減)が大きかった。

用途別着工建築物工事金額(11月)

9億3,015万円(前年同月比77.2%減)と2か月ぶりに前年を下回った。用途別では、医療、福祉用(前年同月比84.7%減)等が前年を下回った。

公共工事請負金額(11月)

57億6,600万円(前年同月比29.4%減)と5か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、市町村の減(前年同月比48.6%減)が大きな割合を占めた。

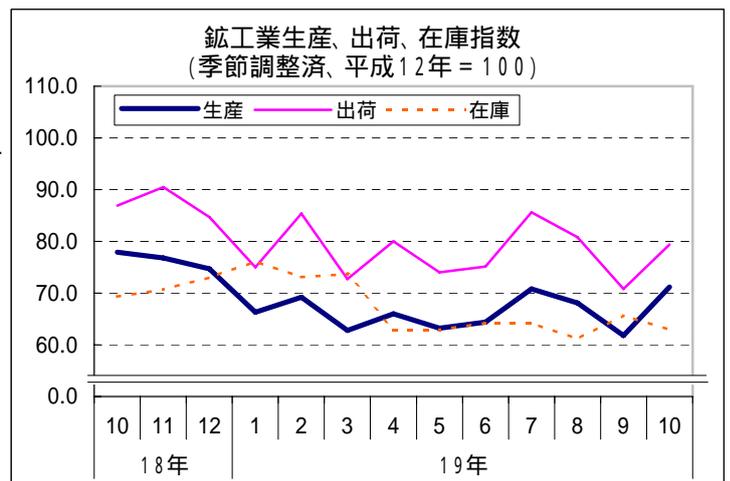
産業面の動き

鉱工業指数(10月)

生産指数(季節調整済)は71.2(前月比15.2%上昇)と3か月ぶりに上昇し、原指数は76.5(前年同月比7.0%低下)と10か月続いて低下した。

内訳を前月比で見ると、電気機械が液晶素子等の生産増により24.6%上昇、食料品・たばこが4.4%上昇、一般機械が51.7%上昇、繊維が17.5%上昇した。

在庫指数(季節調整済)は62.9と前月比4.3%低下した。



大口需要電力実績(10月)

149,321千kwh(前年同月比1.9%増)と2か月続いて前年を上回り、鉱工業はパルプ・紙等が増加し3.8%増加した。

青果物卸売量(11月、鳥取市場)

野菜が1,413t(前年同月比2.1%減)と3か月続いて前年を下回り、果実は1,087t(前年同月比5.3%増)と5か月ぶりに前年を上回った。

漁獲量(11月、境港)

12,072t(前年同月比24.2%減)と2か月続いて前年を下回った。

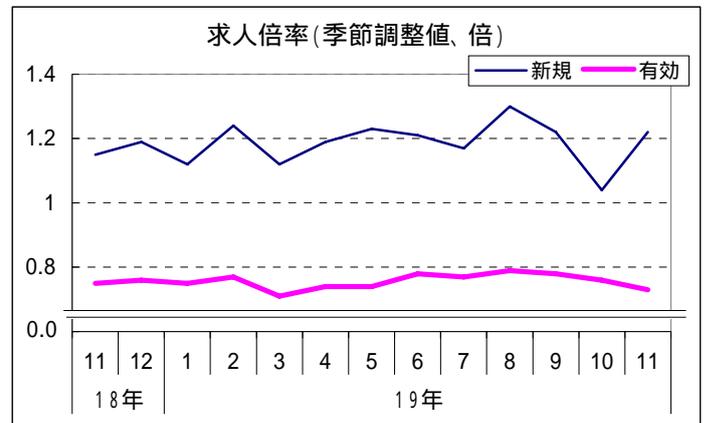
雇用・金融面の動き

新規求人倍率(11月)

1.22倍(前月差0.18ポイント上昇、前年同月差0.07ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、4,064人で前年同月比3.3%の減であった。

有効求人倍率(11月)

0.73倍(前月差0.03ポイント低下、前年同月差0.02ポイント低下)と9年9か月続いて1.0倍を割っている。



現金給与総額(10月)

251,922円(前年同月比1.0%増)と4か月続いて前年を上回った。そのうち、きまって支給する給与は、251,722円(前年同月比1.1%増)で5か月続いて前年を上回った。

所定外労働時間(10月)

9.8時間(前年同月比2.6%増)と5か月続いて前年を上回った。主力の製造業は10.4%減となった。産業別の前年同月比では、情報通信業(前年同月比116.7%増)等で前年を上回り、卸売・小売業(前年同月比13.7%減)等で前年を下回った。

預金・貸出金残高(10月末)

預金残高は、1兆8,446億円(前年同月比1.4%増)と14か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,386億円(前年同月比1.6%減)と14か月続いて前年を下回った。

参考

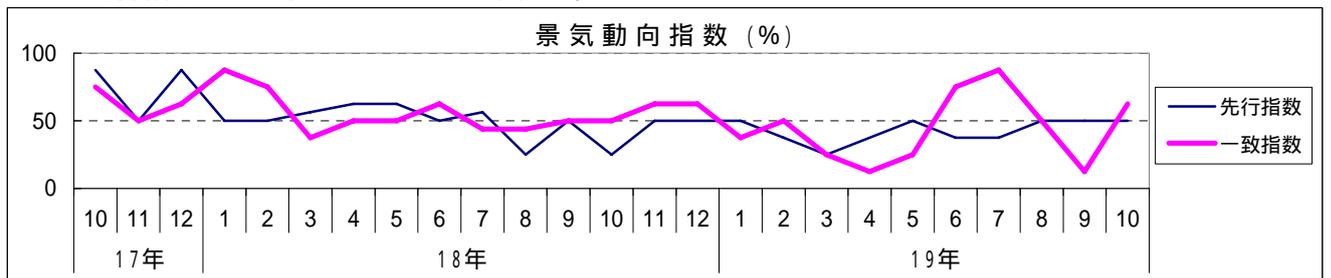
鳥取県景気動向指数(10月)

先行指数50.0%、一致指数62.5%、遅行指数80.0%となった。

先行指数は3か月続いて50%となった。

一致指数は3か月ぶりに50%を上回った。

遅行指数は3か月続いて50%を上回った。



企業倒産(11月)

件数は6件(前年同月比14.3%減)で2か月ぶりに前年を下回り、負債総額は26億9,700万円(前年同月比311.8%増)で2か月続いて前年を上回った。

消費者物価指数(11月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.8となり、前月比(0.1%上昇)は3か月ぶりに上昇し、前年同月比(0.7%上昇)は2か月ぶりに上昇した。

鳥取県の推計人口(12月1日現在)

599,759人で、前月と比べて152人(0.03%)減少し、前年同月と比べて4,066人(0.67%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成19年11月調査)

平成20年1~3月期は、平成19年10~12月期に比べると景気、売上高、経常利益の全てがきわめて不調となる見通しとなっている。